

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2021.6.10 No.413

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

杉並区議会第2回定例会で一般質問②

児童館の果たしてきた役割を検証し存続を



子どもの権利条約の内容や重要性を啓発するため(交財)日本ユニセフ協会が発行したポスター

杉並区議会第2回定例会でコロナ禍のもとの東京五輪の開催、児童館の再編整備、補助132号線と西荻地域のまちづくりについて(※412号で紹介)、一般質問に立ちました。

杉並区の児童館廃止方針 子どもの権利条約に反する

杉並区の児童館廃止・機能移転計画は、子ども達の意見を踏まえずに計画化されています。子どもの権利条約においては、「子どもの最善の利益を考慮すること」「子どもの意見表明権を確保すること」が位置付けられています。質問では、区の進め方は、条約に定められる子どもの権利を保障していないと、問題点を指摘しました。

区は「子どもの意見を聞くことは大事」としながら「子どもの意見では判断出来ない」と答弁。権利条約に反する姿勢を示しました。そもそも、児童館廃止を計画化する段階で、子どもの意見表明すら保障されていないことは重大な問題です。

区内中学生に対するアンケート

杉並区基本構想の策定に向けて、区は、中学生に対するアンケートを実施し、以下の意見が寄せられています。

- 杉並区の「悪いところ」「直した方がよいところ」
 - 「楽しいところ、遊べるところが少ない」 44%
 - 「スポーツができるところが少ない」 32.6%
- 自由意見・杉並区にお願いしたいこと
 - 「気軽に立ち寄れる施設があったらいい」
 - 「遊べるところができてほしい(公園とかではない)」
 - 「児童館の建て直し」「児童館を増やしてほしい」

子どもの意見尊重を

現在進められている杉並区基本構想の策定に向けて区は、杉並区内中学生に対して、アンケートを実施しました(上記)。

アンケートでは、児童館の建て直し、児童館を増やしてほしい、等の中学生からの意見が寄せられています。

コロナ禍での手続きは停止を

このように寄せられた声を今後の計画や基本構想に具体化するよう求めました。区は「アンケート結果も踏まえ、次期計画の策定作業に取り組み」としました。

西荻北・善福寺の児童館を利用している保護者からは、コロナ禍で緊急事態宣言が発出されている状況を踏まえ、児童館の機能移転手続きを進めるべきではない、との声が寄せられています。質問で指摘したところ、区は計画に固執する姿勢を示しました。児童・保護者に負担をかける計画は停止すべきです。

子ども達を危険にさらす五輪観戦は中止を

区民の命と健康を守る対応を

一般質問で、コロナ禍のもとでの東京五輪の開催問題を取り上げました。新型コロナウイルスの感染拡大が深刻になっているもとで、区民の命と健康を守る区長として、政府・東京都に対して、東京五輪開催は中止し、新型コロナウイルス対策に集中することを強く求めるべきと迫りました。

区長は、コロナ禍という厳しい状況の中で様々な制約があるが可能な限り当初の約束(事前キャンプ等)を守る態度で臨む、と開催中止を求める考えは示しませんでした。

リスクの高い観戦は中止すべき

東京都が、都内の子ども達81万人を五輪観戦に動員する計画(杉並区内の参加児童生徒数は、計2万1743人)について、中止すべきと迫りました。特に競技場への移動は、電車やバスなど公共交通機関を利用することとされており、ワクチン未接種の子どもが密になり移動することになります。

■杉並区の参加競技会場

- ・有明アリーナ
- ・オリンピックスタジアム
- ・東京アクアティクスセンター
- ・東京スタジアム
- ・有明体操競技場
- ・国立代々木競技場

変異株は若い世代でも感染しやすく、重症化の可能性が、従来より高いという指摘もあり、学校クラスターも確認されています。

杉並区教育委員会は、感染症対策・熱中症対策をとって実施する予定としながらも、感染状況等によっては参加を見合わせることもあり得る、と答弁しました。

ワクチン接種予約 2回同時予約可能に

私が担当する保健福祉委員会での質疑では、杉並区では12歳から64歳までの方へのクーポン券(接種券)は6月下旬に一斉発送を目指し準備を進め、7月には60歳~64歳の方、基礎疾患を有する方等の接種を始めるとの認識が示されました。

これら対象の方々の予約については、1回目と2回目の予約を同時に出来るようシステム改善を進めていくと予約体制の改善が示されました。

今週の一言

原水爆禁止署名運動 発祥の地・杉並なのに

陳情審査の結果(右)は衝撃的でした。まさか、不採択とは…。原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並区では、立場の違いを超えて核兵器廃絶に取り組んできましたが、今回の結果は杉並区議会史上に残る恥ずべき事態です。

政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める陳情 自民・公明などの反対で不採択に

杉並区議会の陳情審査率向上を目指して、積極審査を実施
杉並区議会の陳情審査率の低さは大きな課題であり、党区議団は、常に速やかな審査を求めています。

党区議団が委員長を務める区民生活委員会に置いて、6月4日「核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することを求める陳情」の審査が行なわれました。

党区議団は「唯一の戦争被爆国として、日本が条約に参加するのは当然。政府が背を向け続けていることは許されない。原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並の区議会として政府に参加を求めるべき」と陳情の採択を主張しました。採決では、共産、立民、連携が採択に賛成しましたが、自民、公明、無維の反対多数で不採択となりました。公明党委員は「条約は画期的」としながら、条約参加には反対という矛盾した態度を取りました。

当日は多くの傍聴者が詰めかけていましたが「杉並区議会は恥ずかしい」「不採択にした議員と党を忘れない」という声が寄せられました。原水爆禁止署名運動発祥の地・杉並区の議会で、核兵器禁止条約の陳情を不採択としたことは重大な問題です。

陳情の採択についての各会派の賛否

会派 (委員数)	自民 (3)	公明 (1)	共産 (1)	立民 (1)	無維 (1)	連携 (1)
賛否	×	×	○	○	×	○

会派の正式名称は以下の通り。

自民/杉並区議会自由民主党 公明/杉並区議会公明党
共産/日本共産党杉並区議団 立民/立憲民主党杉並区議団
無維/自民・無所属・維新クラブ
連携/無所属・少数会派連携の奥山区議